

# ～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

## 「学ぶ土台づくり」推進計画 「宮城県教育庁 教育企画室」

### 取組の基本理念

震災以降、幼児期の子どもたちを取り巻く現状として、親子の触れ合いについて十分な時間が確保されていないことや、地域における体験活動の充実が図られていないこと、親としての学びの場が少ないことが把握できた。このことから、地域コミュニティ再生に向けて基盤となる親子間の愛着形成の促進と、それを取り巻く環境づくり、子どもの遊びを通じた体力向上と地域コミュニティの学びの場づくりを支援する取組を行いながら、地域コミュニティの再生を図るものとする。

#### ◆ 取組にあたっての方針として ◆

県が取り組んでいる「学ぶ土台づくり」推進計画の目標1～4との関連をもたせながら、本事業の主旨に沿った取組を企画・実践していく。

### 事業概要

- 1 親子間の愛着形成の促進とその環境づくりの実践 2 子どもの遊びを通じた体力向上と学びの場づくり

### 取組の概要

目指す子どもの姿

元気いっぱい 夢いっぱい 瞳かがやく“みやぎっ子”  
～ 遊びや自然・人とのかかわりを通して、豊かな心をはぐくむ ～

### 「学ぶ土台づくり」推進計画とは

幼児期を、生涯にわたる人間形成の基礎を築く時期、すなわち「学ぶ土台づくり」の時期にとらえ、幼児期の教育の一層の充実に向けて、家庭、地域、教育現場、行政が一体となって取組を推進する計画

(平成23年3月:宮城県・宮城県教育委員会策定)

- 目標1 親子間の愛着形成の促進
- 目標2 基本的生活習慣の確立
- 目標3 豊かな体験活動による学びの促進
- 目標4 幼児教育のための環境づくり

### 1 親子間の愛着形成の促進とその環境づくりの実践

#### 「学ぶ土台づくり」推進連絡会議

県内の幼児教育関係者が集まり、本県の幼児教育の課題についてテーマ【H25例（親子のかかわりを深めるためにできること等）】を設定し、話し合いを行った。



目標1, 3

#### 「川島隆太教授と考えるうちの子の未来学」の配布と活用

親やもうすぐ親になる方にパンフレットの配布と併せて、出前講座や関連施設での活用を図り、親子間の愛着形成の重要性についての学びの場を提供した。



目標1, 2, 3

#### 「学ぶ土台づくり」圏域別ワークショップ



県内7圏域で幼児教育に関係する方々が集まり、目標1～4に関連した実状に応じてテーマを設定、今の自分たちに何ができるのかという視点で話し合いを行った。どの圏域でも親子間の愛着形成、子どもの遊びについて取り上げた話し合いとなり、地域にあわせた具体的な手立て等が出された。

目標1, 2, 3

#### 「学ぶ土台づくり」市町村支援事業

目標1～4に関連した市町村独自の取組が行われた。

(次の取組は一例)

- 地域住民との交流会
- 子育てサークル活動
- 幼児健全発達支援事業「にこにこ教室」
- 発達障害等勉強会
- 親子で楽しい運動遊び

目標1, 2, 3, 4

### 2 子どもの遊びを通じた体力向上と学びの場づくり

#### 「学ぶ土台づくり」体力向上支援事業

沿岸被災地の幼児等を対象に「サッカー教室」を実施し、体を動かすことの楽しさを味わわせるとともに、コミュニティ形成の一助とした。



目標3